

外伝 その6

《多摩川沿川のスポーツスタジアムと、復興資金集め》

川崎フロンターレが、サッカーのＪ１を初制覇しました。ホームスタジアムは、多摩川沿いの等々力陸上競技場（川崎市）です。このチームは、富士通（株）が、１９５５年（昭和３０）に創設したサッカー部をルーツです。

なお、多摩川沿いには、「川崎フロンターレ」だけでなく、「ＦＣ東京」、「東京ヴェルディ」が、味の素スタジアム（東京スタジアム：調布市）をホームスタジアムとしています。

さて、サッカーは、ＴＯＴＯ（サッカーくじ、賭博）があり、スポーツ振興の資金集めの一つとなっていますが、実は、戦後復興の資金集めとして、スポーツ賭博が一定の役割を果たしました。

それが、競輪場、競馬場、競艇場で行なわれる賭博です。近隣住民にとって、交通混雑を引き起こす迷惑な施設ですが、戦後の復興資金を確保するために、過激なギャンブル性を排除する法律（参考）が制定され、公営として設立されたものです。（注）

多摩川沿川には、全国でも数多く立地しています。競輪場では、京王閣、立川、川崎と３箇所、競馬場では、中央競馬の東京競馬場（府中）、地方競馬の川崎競馬場、そして競艇場では、多摩川競艇場です。

こうした面で、多摩川沿川は、①高級住宅地やニュータウン、②テクノロジー拠点の集積、③京浜工業地帯のイメージのほかに、④スポーツスタジアム集積という側面も持ち合わせているのですね。

参考

- １９４８年（昭和２３）７月１３日 競馬法制定
- １９４８年（昭和２３）８月 １日 自転車競技法
- １９５１年（昭和２６）６月 ５日 モーターボート競走法
- １９９８年（平成１０）５月１０日 スポーツ振興投票の実施等に関する法律

注：サッカーは、オリンピックの正式種目ですが、競馬も競輪も、形式こそ違いますが、オリンピック種目です。また競艇は、エンジンを搭載しないボート競技、ヨット競技が、オリンピック種目となっています。

写真は、①川崎フロンターレ初優勝（Twitter 富士通（株）ツイートより）、②スタジアムの位置（Yahoo 水系図を背景に細見加筆）

